



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者

執行委員長 針谷 歩

2021/2/8 No.20

# 全組合員の団結で21春闘を 職場から押し進めよう！

## 〔21春闘スローガン〕

厳しい春闘情勢下においても「雇用確保」「定昇確保(昇給係数4)」「ベア要求」を堂々と掲げ、グループ会社で働く仲間と共にたたかおう！

### 要求の考え方のポイント！

- ・労働者の労働力がなければ利益を生み出せない構造は、コロナ禍であっても変わらない
- ・清潔・安心感の提供と「変革 2027」へ向き合うことは、労働力の価値の向上と言える
- ・雇用確保を前提に「人への投資」としてのベアを行うよう求める
- ・グループ会社の仲間からの賃金引き上げを求める切実な声を踏まえたベア要求が必要

春闘の三要素「世間相場」「会社の支払い能力」「労働組合の組織力」のうち、今できることは「労働組合の組織力」を高めることです。社友会の掲示物をみれば「(年末手当を)こんなにもらって良いのか」という論調も見られます。そもそも「社友会」は憲法で保障された団体交渉ができず、限界性があります。組合員・社員の中には、育児や介護など、様々な家庭事情を抱えた人がいます。その中で一様に賃金を抑制することは生活の苦しさに直結してしまうのではないのでしょうか。

コロナ禍の中で日本の労働組合の組織率は11年ぶりに上昇しており、社会的にも労働組合の必要性は高まっています。団体交渉で労働条件を議論できるのは労働組合だけです。組合員はもちろんのこと、未加入者の方たちとも議論し、春闘での要求根拠を積み上げましょう。そして、JR 東労組に結集し「労働実感」「生活実感」を踏まえ、組合員と家族の為に、職場現実に基づき堂々と要求を掲げ、21春闘をたたかい抜きましょう！



2021年2月9日

第47回定期中央委員会を成功させよう！